

目指すゴール



1939年の創業以来、精密切削加工に特化し、事業を展開しています。自社での設備の開発力を活かし、部品を加工する会社から加工プロセスを開発する会社への転換をはかってきました。現在ではHOKOKUグループ（4社）として設備、自動化装置、搬送装置、検査機器などの開発や、切削工具の開発なども手がけ、顧客要望の図面に適合する製品を造るだけでなく、その加工プロセスにおいて他社との差別化をはかっています。

当社の目指す精密切削加工プロセス開発力は、人の快適な暮らしに役立つ技術革新を支えることを目指し、自動車部品、医療機器検体検査装置、半導体製造装置、液晶検査装置、ロボット、航空機器など最先端の技術に活用されています。

当社の取組み

項目	内容
(1) 製品を通じた豊かな未来づくりへの貢献	① 安心して暮らせる開発製品分野の拡大 ② 利便性を追求する事業分野の開拓
(2) 安心な製品の提供	① ものづくりの原点に戻った工程づくり ② 工程管理のシステム化
(3) 魅力ある職場の実現 -SmartCompany推進-（※1）	① 働きやすい職場環境の確保 ② 人材育成
(4) 健康経営、環境負荷への配慮	① ウェルビーイングの追求（※2） ② 製造プロセスにおける環境負荷低減
(5) 企業ブランドの構築	① 情報の外部発信力向上 ② 社会貢献活動の充実

※1. Smart Company：人が人らしく仕事をする。データに基づき、自発的・自律的に行動できる。
 ※2. ウェルビーイング（well-being）：身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で「幸福」を意味する。

SDGsの取組み紹介



取組紹介

事業活動での環境負荷低減

CO2排出量の低減目標を設定し、設備更新を計画的に行い、経費とCO2排出量低減を継続的に進めています。

2019～2021年の3ヶ年間は、空調設備(冷温水機、送風ファン)の更新を進め、69t/年のCO2排出量低減を達成しました。

